

平成21年3月期  
第2四半期決算説明会

平成20年11月17日



株式会社 **DTS**

<http://www.dts.co.jp/>

# 目次

1. 平成21年3月期 上期実績
2. 平成21年3月期 通期見通し

## 本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

# 1. 平成21年3月期 上期実績

# 単体業績状況

売上高はほぼ計画通りで前期比プラス。  
売上総利益率の低下で利益は前期比マイナス。

(単位：百万円、%)

	金額	売上 比率	当初計画比	前期比
売上高	19,197	-	97.9	102.4
売上総利益	3,173	16.5	85.5	88.9
営業利益	1,498	7.8	75.7	77.6
経常利益	1,716	8.9	79.9	80.8
四半期純利益	968	5.0	74.3	75.1

# サービス別売上高の状況(単体)

システムは減少するもプライムSI比率は向上(40.6% 50.1%)。  
オペレーションは通信・サービス業向けで増加。

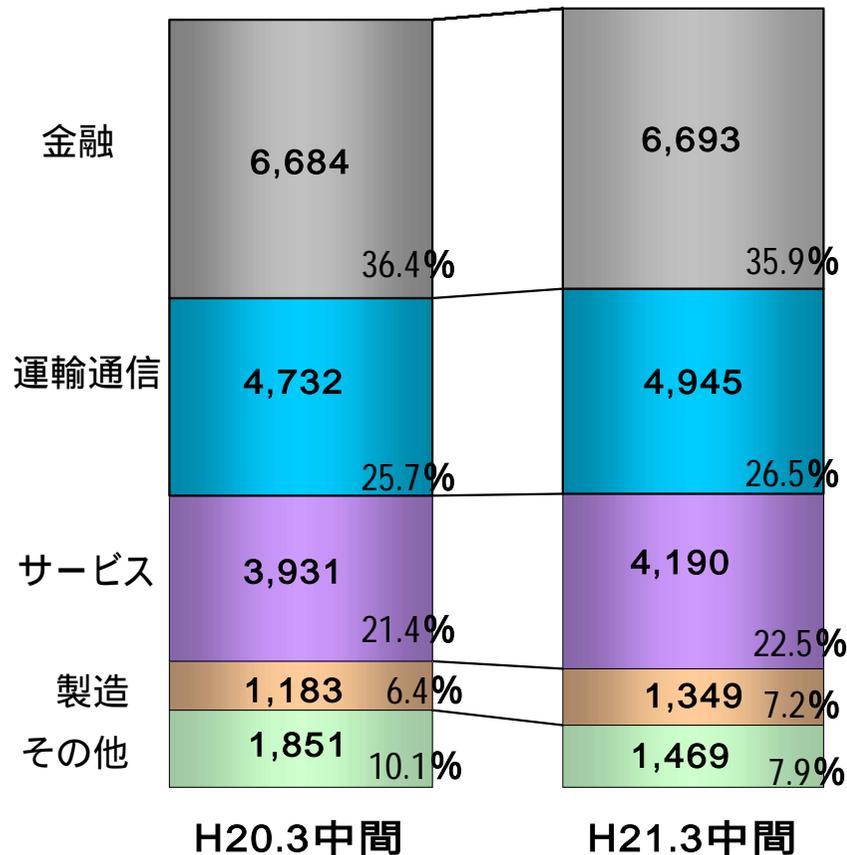
(単位：百万円、%)		金額	売上 比率	当初計画比	前期比
情報サービス		18,646	97.1	97.1	101.4
	システム	12,601	65.6	92.1	97.3
	オペレーション	6,045	31.5	109.4	111.3
プロダクト		550	2.9	142.3	149.6
計		19,197	100.0	97.9	102.4

# エンドユーザ別売上高 (単体: 情報サービス)

金融業向けは一部案件の先送りで前期並み。  
通信、サービス、製造業向けで成長。

上段: 金額  
下段: 構成比

(単位: 百万円)



**金融 (前期比 100.1%) 前期並み**

- ・都銀向け統合案件は当初予定通り減少
- ・一部金融機関で案件先送り
- ・他金融機関の売上増加で前期並みを確保

**運輸・通信 (前期比 104.5%) 堅調**

- ・次世代通信網案件が遅延するも2Qに伸張
- ・大型開発案件が運用フェーズとなり、オペレーションが大幅増加

**サービス (前期比 106.6%) 好調**

- ・幅広い顧客から売上増

**製造業 (前期比 114.1%) 好調**

- ・SAP案件伸張

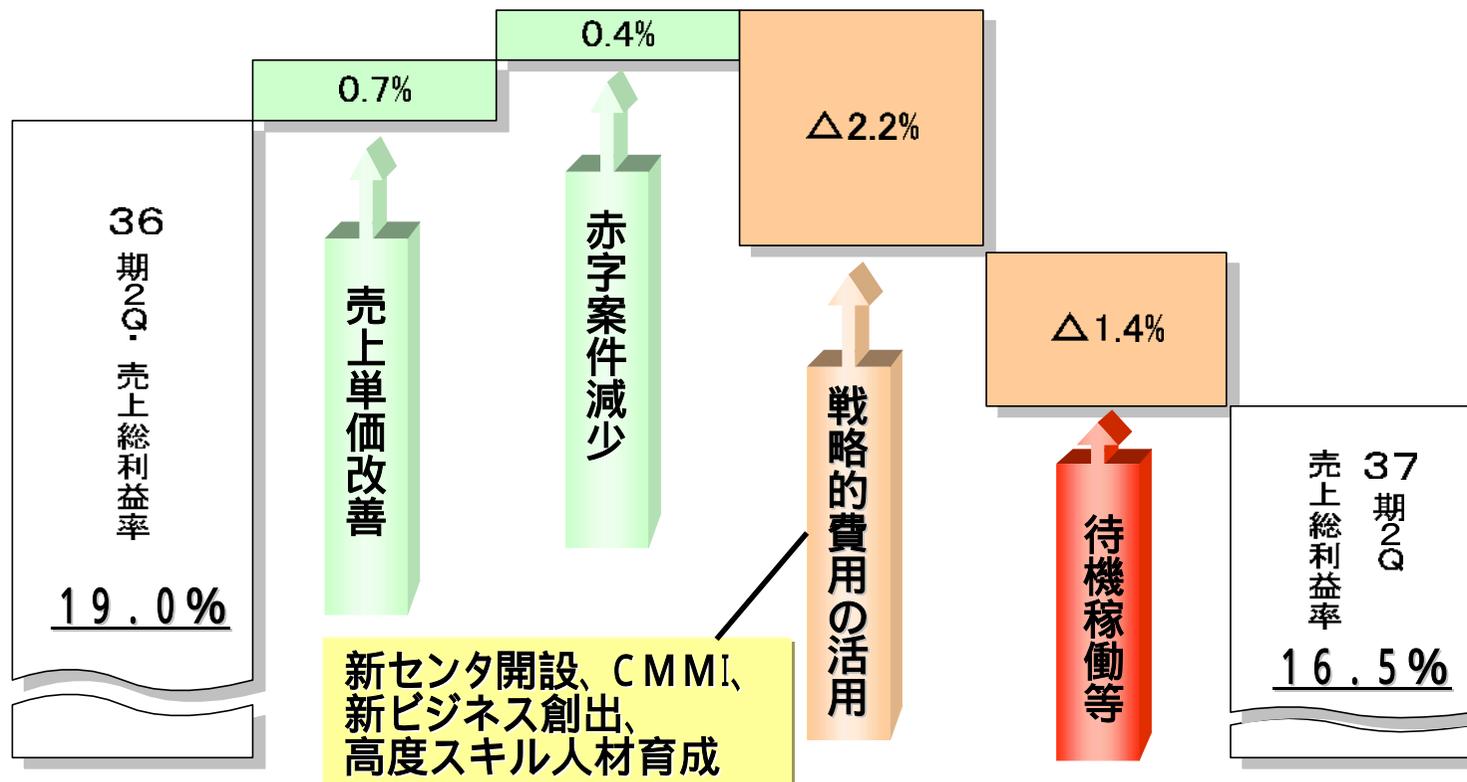
**その他 (前期比 79.4%) 低調**

- ・公共向け伸び悩み

# 売上総利益 (単体)

単価改善幅の鈍化、待機稼働の増加により利益率低下  
 戦略的費用は計画的に活用

売上総利益 3,173百万円 (前期比88.9%、売上比率16.5% (前期比 2.5pt))



# 営業利益、経常利益 (単体)

## 販管費率は前期並みを維持

販管費 1,674百万円 (前期比102.3%、売上比率8.7%(前期比0.0pt))

中期総合計画に基づく戦略的費用の増加 + 37百万円

コンサルティングサービスの強化、新規ビジネスへの投資  
内部統制(J-SOX)のための体制強化  
海外、国内ブランド展開 などの戦略的費用

営業利益 1,498百万円 (前期比77.6%、売上比率7.8%(前期比 2.5pt))

営業外損益 218百万円 (前期比112.6%、売上比率1.1%(前期比0.1pt))

子会社からの配当金増加等 + 24百万円

経常利益 1,716百万円 (前期比80.8%、売上比率8.9% (前期比 2.4pt))

# 四半期純利益<sub>(単体)</sub>

R D社の事業統合により  
D T S 関西グループのシナジー発揮

特別損益 184百万円 (前期比-%、売上比率 1.0%(前期比-pt))

関係会社株式評価損 ( R D社 ) 168百万円

R D社は当社子会社であり、当社に事業譲渡後解散する予定

四半期純利益 968百万円 ( 前期比 75.1%、売上比率 5.0% (前期比 1.8pt) )

# 連結業績状況

売上高は計画達成。利益は単体減益の影響で計画未達。

(単位：百万円、%)	金額	売上比率	当初計画比	前期比	連単倍率
売上高	29,811		100.0	102.9	1.55倍
売上総利益	4,920	16.5	89.5	94.0	1.55倍
営業利益	1,787	6.0	77.4	79.8	1.19倍
経常利益	1,879	6.3	79.2	82.4	1.10倍
四半期純利益	844	2.8	68.6	68.9	0.87倍

・販管費 3,132百万円(前期比104.5%、売上比率10.5%(前期比+0.2pt))

・特別損失 133百万円(RD社事業統合に伴うのれん償却他)

# 参考) グループ各社業績状況

(単位：百万円、%)

社名	売上高		営業利益		
	金額	前期比	金額	売上比率	前期比
データリンクス	4,383	110.9	152	3.5	96.5
日本SE	2,951	97.5	126	-	[ + 6]
FAITEC	2,669	104.1	284	10.7	84.6
総合システムサービス	712	103.8	88	12.4	189.8
九州DTS	598	108.8	18	3.1	40.3
アールディー	434	89.2	6	1.4	[+14]
MIRUCA	215	165.7	69	32.4	222.7
アスタリクス	16	413.2	43	-	[ 21]

各社単独の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

は、前期途中から連結対象となった会社。総合システムサービス：前期上期5ヶ月、MIRUCA：前期上期3ヶ月  
[ ]は、当期金額 - 前期金額

## 3 . 平成21年3月期の見通し

# 当社を取り巻く環境(下期)

## 1. システム投資に対し慎重なスタンス

- ・国内景気の減速懸念
- ・不急なシステム投資の延期、商談の長期化
  - 一部金融機関におけるシステム投資の延期
  - 通信キャリアにおける大型案件の延期

## 2. 長期に渡った国内金融機関の 統合プロジェクトの完了

# 当社の取り組み(下期)

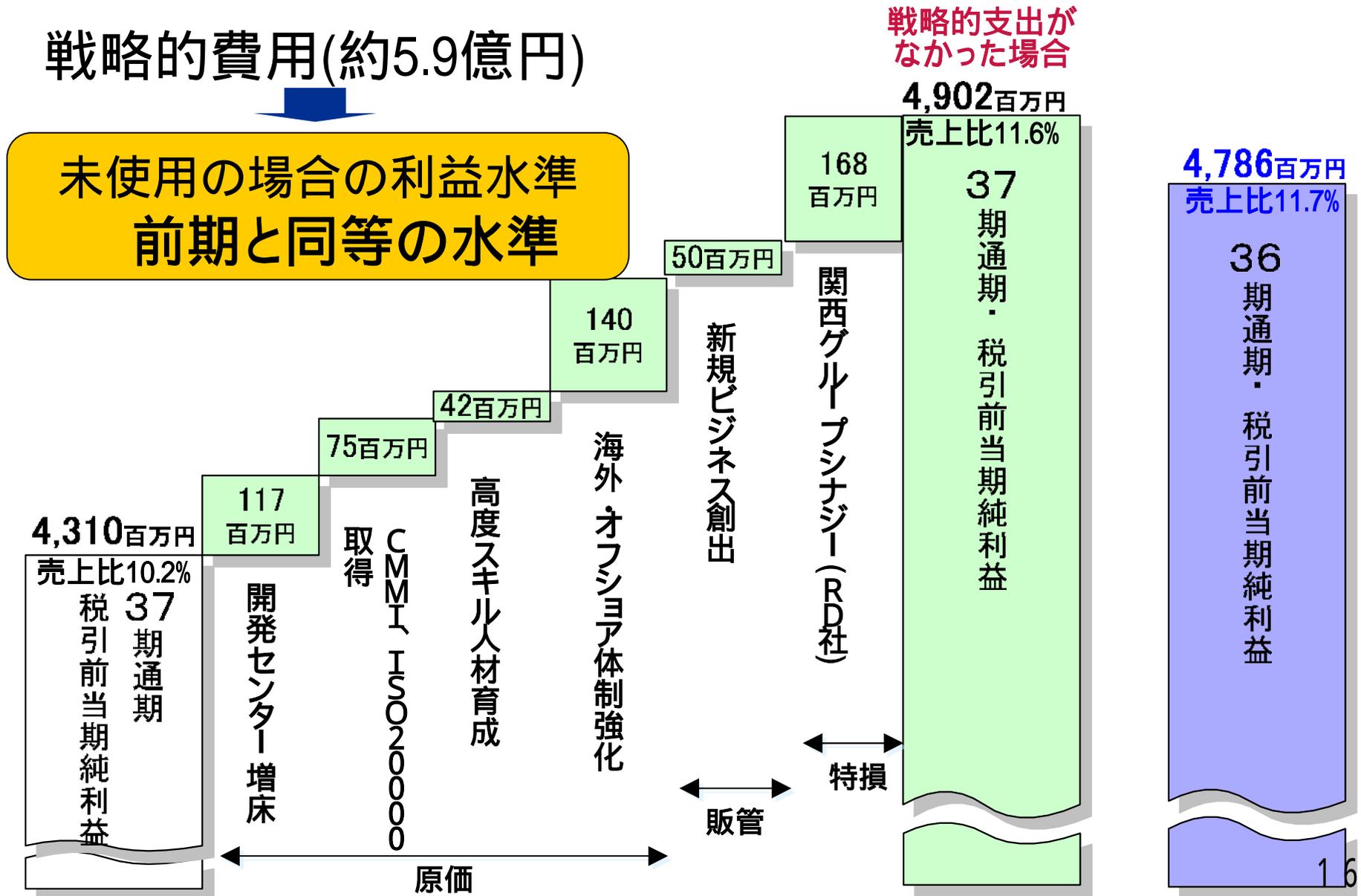
1. 受注拡大へ向けた活動の強化
  - ・新規顧客の開拓
  - ・既存顧客の深耕
2. プロジェクトの効率化・採算管理の強化
  - ・採算意識の徹底
  - ・待機稼働の一掃
3. 将来に向けた戦略的な先行投資は継続

# 中期計画の柱であるSI体制強化 に向けた戦略的投資

- (1) 新規事業基盤確立  
新規ビジネス創出。
- (2) 海外・オフショア体制強化  
中国拡大、ベトナムオフショア開始、  
インド協業
- (3) 高度スキル人材育成  
外部資格保有者は着実に増加。  
社内認定制度を活用し人材育成。
- (4) CMMI取得  
今期：レベル3、 2年後：レベル5

# 戦略的投資の規模(単体・通期)

戦略的費用(約5.9億円)



戦略的支出が  
なかった場合

4,902百万円

売上比11.6%

4,786百万円

売上比11.7%

36期通期・税引前当期純利益

16

# 下期計画 (単体・連結)

受注残は前期比103.1%、  
下期は立上りから稼働率が好転

単体

連結

(単位：百万円、%)

	金額	売上比率	前期比	金額	売上比率	前期比	連単倍率
売上高	23,002	-	104.1	34,188	-	104.2	1.49倍
売上総利益	4,606	20.0	102.9	6,719	19.7	104.0	1.46倍
営業利益	2,751	12.0	98.8	3,212	9.4	95.7	1.17倍
経常利益	2,783	12.1	98.9	3,220	9.4	96.0	1.16倍
四半期純利益	1,581	6.9	100.3	1,655	4.8	96.5	1.05倍

# 通期計画 (単体・連結)

下期の対策により、利益水準の回復を計画

単体

連結

(単位：百万円、%)

	金額	売上 比率	前期比	金額	売上 比率	前期比	連単倍率
売上高	42,200	-	103.3	64,000	-	103.6	1.52倍
売上総利益	7,780	18.4	96.7	11,640	18.2	99.5	1.50倍
営業利益	4,250	10.1	90.3	5,000	7.8	89.3	1.18倍
経常利益	4,500	10.7	91.1	5,100	8.0	90.5	1.13倍
当期純利益	2,550	6.0	89.0	2,500	3.9	85.0	0.98倍

# 参考) 通期計画 (グループ各社)

(単位：百万円、%)

社名	売上高		営業利益		
	金額	前期比	金額	売上比率	前期比
データリンクス	8,703	106.3	403	4.6	101.4
日本SE	6,065	99.0	141	-	[+8]
FAITEC	5,530	100.9	579	10.5	87.4
総合システムサービス	1,400	99.1	137	9.8	99.1
九州DTS	1,300	106.2	73	5.6	62.6
アールディー	911	98.8	31	3.5	587.0
MIRUCA	393	137.2	55	14.0	135.9
アスタリクス	79	1,315	60	-	[ 9]

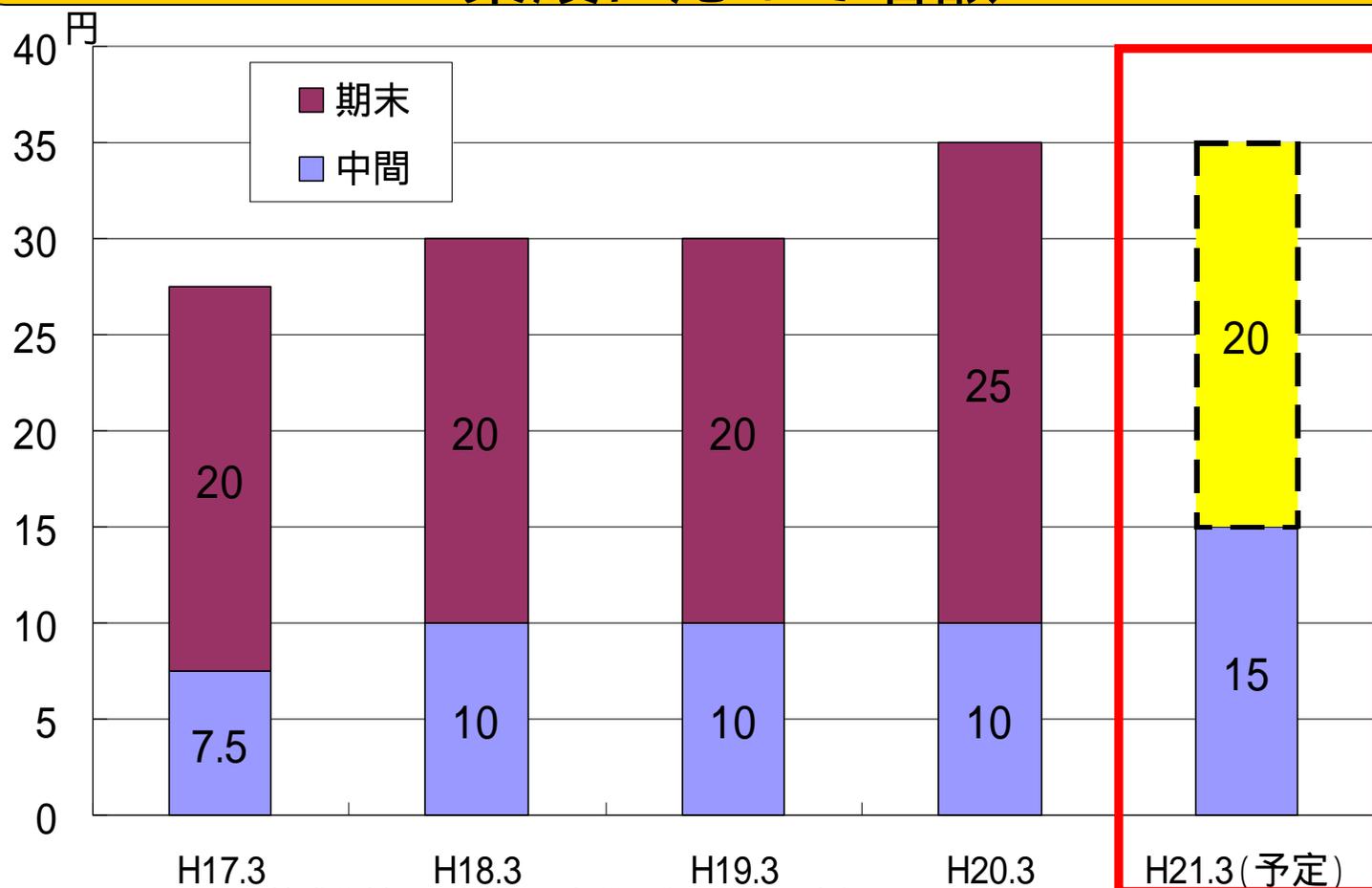
各社単独の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

は、前期途中から連結対象となった会社。総合システムサービス:前期11ヶ月、MIRUCA:前期9ヶ月

[ ]は、当期金額 - 前期金額

# 配当計画

安定・継続的に一定額  
 今後の事業展開に必要な内部留保を考慮しつつ  
 業績に応じて増額



\* H19.10に株式分割(1:2)実施、過去分は遡及後の配当額。